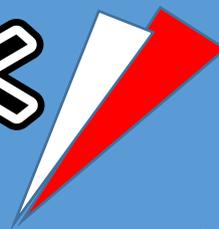


# 飛躍



# 一人一人が輝く



## 校訓：礼儀 勉学 勤労

### 【自ら学び 共に歩み 未来を拓く生徒】

令和7年9月24日 第8号

文責：教頭（加藤）

## 全国学力・学習状況調査の結果

4月に3年生を対象に実施された国語、数学、理科、生活・学習状況について、本校の結果と分析、今後の取組についてお知らせします。

\*国語・数学は平均正答率、理科は平均正答数

	国語	数学	理科
全国	54.3	48.3	2.9 / 6
静岡県	56.0	51.0	3.1 / 6
本校	県平均を上回っている	県平均を上回っている	県平均を上回っている

	主な傾向（良い表れ○、課題◆）	今後の取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図や校正の目的を選択肢から選ぶ問題の正答率が高かったです。</li> <li>○物語文の記述から登場人物の人柄を適切に推測する力がついていました。</li> <li>○文章の内容を読み取る力が付いています。</li> <li>◆正しく漢字を書くことや、言葉の意味を理解することに対する課題が見られました。</li> <li>◆条件の多い作文において、条件をきちんと満たしていない作文が散見されました。また、作文の目的に忠じて、適切に情報を取り上げて書くことに課題が見られました。</li> <li>◆無解答率が高く、白紙の解答による失点が特に記述式の問題でその傾向が見られました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しく漢字を書くことができるよう、漢字の書き取り等の学習を促していきます。</li> <li>・意味の分からない言葉があったら、意味を調べるよう促していきます。</li> <li>・条件を満たした文章を作成する等、正確な文章を書くことができるよう、学校生活における、あらゆる「書く」活動に一層意識が向くよう促していきます。</li> <li>・「目的」を意識して書いたり、話したりする活動の機会を設け、その目的に沿った文章の作成を促します。その過程で、必要な情報を大きく取り上げたり、不要な情報を削ったりすることに目を向けることができるようにしていきます。</li> <li>・分からないながらも書いてみることを促し、間違え方から次への対策を立てられるように声掛けをしていきます。</li> </ul>
算数・数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○等式変形を用いた計算の正答率が高く、基本的な数学の技能が定着していると感じます。</li> <li>○データの活用の問題の正答率が高かったです。確率やデータの活用の問題では、日常的な場面に置き換えても、授業で学んだことを生かすことができる力が身に付いています。</li> <li>◆説明の問題や図形の証明の問題の正答率が低かったです。計算や性質を理解していても、文章で説明する力に課題が見られました。</li> <li>◆1年生、2年生前期の既習内容の正答率が全体的に低かったです。家庭での学習習慣が身に付いておらず、前の学年の学習内容が定着していない傾向があります。家庭学習をする習慣を身に付けていく必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明や証明の問題に多く取り組ませていきます。教師が教えるのではなく、生徒同士が交流をして、アウトプットし、文章を書く力を身に付けられるように指導を工夫します。</li> <li>・式の説明や理由の説明、図形の証明問題に多く取組ませます。また、「なぜそうなるのか」を生徒になげかけ、数学の問題を論理的に考える習慣を身に付けられるように指導を工夫します。</li> <li>・単元の導入で学年をまたいだ復習問題等を取り入れていきます。また、家庭学習の方法や意義について、授業を通して伝えていきます。</li> </ul>

<p>理科</p>	<p>○本校の平均正答率は国や県の平均よりも高く、これまでの学習内容が定着している率が高いと感じます。同様に IRT スコアも高く、難しい内容も答えることができる生徒が多くいます。</p> <p>◆「地層の性質から、水が染み出る場所を判断し選択する問題」「化学変化の様子を、原子や分子のモデルを使って説明する問題」「考えを肯定するためのボーリング調査の結果を考察する問題」など、<b>既習事項を応用して考える問題</b>の正答率が低く、<b>知識の活用</b>に課題が見られます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の言葉で自然事象の説明をしたり、実験や観察の結果を考察したりする場面を増やし、思考力を伸ばしていけるようにしていきます。</li> <li>・実際の事例を示しながら、自分たちで考え推論をする活動を通して、既習事項を利用して考える力を育てていきます。</li> </ul> 
<p>生徒質問紙より</p>	<p>○朝食を毎日食べたり、同じ時間に寝たり起きたりするなどの基本的な生活習慣ができている生徒が多いです。</p> <p>○「学校に行くのが楽しい」「友達関係に満足していますか」の質問への肯定評価が高く、学校での生活に満足している生徒が多いと感じます。</p> <p>◆「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「分からないことや知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え工夫することはできますか」「自分の考えを発表する機会では、考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」などの項目の肯定評価が低く、<b>自分の考えをまとめたり伝えたりする</b>ことを苦手と感じている生徒が多く見られます。</p> <p>◆<b>学習時間</b>が、国や県の平均時間と比べて少ない傾向が見られます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、安心して学校生活を送ることができるよう支援していきます。</li> <li>・自分の考えに自信をもって発信したり、お互いに意見を言い合ってよりよいものを練り上げたりすることができる活動を増やしていきます。</li> <li>・自ら課題を見付け、解決につなげていけるような活動を普段の授業や学校の行事の場面で増やしていきます。</li> </ul> 

### 【旭が丘全体の取組と御家庭へのお願い】

旭が丘中学校では、今回の調査結果から、教科の基礎的な知識や技能は身につけてきていると把握しています。しかし、その知識を活用し、論理的に考え、自分の意見を表現する力については、まだ伸びしろがあることがわかりました。生徒たちの「考える力」「活用する力」を育てていけるよう努めていきます。学力向上には、「**家庭学習の充実**」は不可欠です。

家庭での学習において、「**なぜそうなるのか？**」と問いかけ、**考える習慣**が身に付いていくよう、御家庭での学びをサポートしてまいりますようお願いいたします。

## 出前学校説明会

先日、代表生徒が宮園小学校、飯田小学校を訪問し、6年生を対象とした中学校生活の説明会を行いました。説明会では、生徒会役員を中心に、部活動や日々の授業、定期テスト、学校行事などについて、小学生の皆さんに分かりやすく話していました。説明会の後は、質疑応答が行われました。それに答える代表生徒の言葉には、中学生としての自覚と、もうすぐ仲間になる小学生を温かく向かい入れたいという気持ちがあふれていました。

